



花いっぱい自分友だち御一小

御前崎市立第一小学校 学校だより 1月号

「ありがとう」であふれる3学期に

大きく長い揺れと、その後明らかになった大きな被害の情報で明けた令和6年です。1月9日（火）に始業式ができることも、一人も欠けることなく職員が揃ったことも、子どもたちが元気な笑顔を見せてくれたことも、すべてが「あたりまえ」ではなく「ありがたい」ことだと痛感しています。

始業式で私からは、感謝の花を咲かせる3学期に向けて、優しさのバトンの動画を見てもらいました。そして

- ・ありがとうの反対は当たり前であること
→よく見るとわたしたちの周りにはありがとうがあふれていること
- ・優しさのバトンをわたす最初の一人になってほしいことを伝えました。

①「自分からみんなで」「当たり前」にできることを 増やし続けること

②「有難し」に気付き、たくさんの「ありがとう」あふれる学校にすること

埴淵学びづくり部長からは、授業の花節の成長の姿、松浦心づくり部長からは、第5節にみんなで頑張りたいことについての投げかけがありました。温かな聴き方の子どもたちでした。

また、1月12日（金）の朝には、1～5年生の児童がオンライン全校集会を行いました。（これは秘密らしいので詳細は差し控えます。）

「ありがとう」見つけはもう始まっています。

教員はブラック？ 虹色の時があるからがんばれます

インフルエンザは相変わらず猛威を振るい、どんなに予防をしても、ダウンする職員もいます。この日も、急な発熱で担任が休みました。体調優先、子どもたちのためにも無理をしないという指示を出しましたが、彼女は、検査で陰性だったし、夕方には熱が下がったから、と翌朝出勤してくれたのです。

すると、その姿を見つけた子どもたち。渡り廊下まで来て、大歓声で出迎えました。窓からも「〇〇先生～っ」と嬉しそうな声が届きます。さらに、職員室から教室へ行く際には、「先生、このかばん持つよ。」と優しい言葉まで。思わず、「〇〇先生、うれしいですね、みんな、こんなに待っててくれたんだね。」と声をかけました。返ってきたのは「はい。がんばれます。」の言葉。担任冥利につきる場面に、私までなんだかとても心がほっこりする朝のひとつときでした。（やっぱり体調は優先にしてほしいですが）

（年末年始、常にお腹が「ぱんちくりん」だったことを猛省している校長 仁平美和子）

